

## 1年生

### 10月の重点教育目標『体をきたえ元気な子』

### 【運動会の先、次の一歩へ、おこせ、アクション!!】

運動会という大きな行事を通して、心身ともに成長した1年生。整列の仕方や話の聞き方、自分で決めた目標に向かって努力すること、友達と協力して頑張ることなど、多くのことを学びました。集団でしか味わうことのできない達成感を味わうこともできました。「一人一人が努力したこと」「みんなで頑張ったこと」など、運動会を通して成長したことを

クラスでも振り返りました。今後の活動にも生かしていけるよう、引き続き指導してまいります。保護者の皆様には、衣装の準備や励ましのお声掛け、本番での温かいご声援等、支えていただきありがとうございました。



2年生

10月の重点教育目標『体をきたえ元気な子』

【 まだまだ続くよ フラフープ 】

運動会は、たくさんのご声援ありがとうございました。初めはフラフープを回すことが難しかった子も、9月からの練習を積み重ね、今では1分以上回すことができるようになりました。運動会は終了となりましたが、体幹を鍛えるためにも体育の授業の準備運動等で引き続き取り組んでいます。3分以上フラフープを落とさず回し続けることができる子たちも増えてきていました。これから、少しずつ寒さが厳しくなる季節となりますが、寒さに負けない身体作りに励んでいきたいと思います。



3年生

10月の重点教育目標『体をきたえ元気な子』

## 【短縄一分間跳びで 体力UP！】

9月の走り方教室の講師の方に「短縄跳びは、体力向上にとても効果がある」とおすすりめされ、3年生では、短縄の1分間跳びを始めました。子どもたちは、前跳び・後ろ跳び・あやとびなど、自分に合った跳び方にチャレンジしながら、良い汗をかいています。1分間とべると「やったー！」とよろこんでいます。この取り組みを11月以降も継続し、体力向上を目指します。



## 4年生

### 10月の重点教育目標『体をきたえ元気な子』

#### 【運動会 THE☆長拳・ハードル走、とび箱運動】

今年は中国の拳法「長拳」を元にした表現運動を行いました。動き自体はシンプルなものが多いですが、それらをいかにかっこよく、一つ一つの動作にメリハリをつけて行えるかということや、動きをそろえることを大事に練習を重ねてきました。普段中々触れる機会の少ない民族舞踊を通して、一つのをやり抜く力や体力が身についたと感じます。

また、運動会後の体育の学習では、ハードル走と跳び箱運動に取り組んでいます。ハードル走では、自分にあったコースを探し、リズム良く、またフォームも綺麗に跳べるように練習をしています。跳び箱運動でも跳べる技をもっと綺麗なフォームで跳んだり、苦手な技に挑戦しながら練習したりしています。

どちらの学習もペア学習でお互いに見合っってアドバイスをしあったり、クロームブックを使って動画を撮り合ったりすることでさらにフォームを意識して練習できるようにしています。



## 5年生

### 10月の重点教育目標『体をきたえ元気な子』

#### 【運動会から未来の自分へ】

10月9日の運動会に向けて、集中して全力で練習し、難しいことにも挑戦し続けてきました。本番では今までで最高のパフォーマンスを発揮でき、大成功で終えることができました。

運動会で学んだことを生かし、更なる成長を目指して10月は過ごしてきました。体育の授業では、鉄棒運動と走り高跳びを中心に運動を行いました。久しぶりの鉄棒では自分の課題に『挑戦』する様子がたくさん見られました。また、休み時間に練習したり、声を掛け合ったりしながら取り組む子どもたちもいました。走り高跳びでは、より高く跳ぶために『全力』で行うことができました。成功するにはどうすればよいか、考えながら体を動かしている様子が見られました。

今年度の体力調査の結果も出ましたので、それぞれの課題にあった活動を継続して行い、これからも体力向上を意識して活動していきます。



## 10月の重点教育目標『体をきたえ元気な子』

### 【運動の楽しさや喜びを味わえる体育学習】

体をきたえることは、体育の学習を中心に行われています。今回は、一例として、2組の体育の学習をご紹介します。

10月から、体育館で走り高跳びの学習を行っています。準備運動の後には、高跳びの補助運動のためのサーキットトレーニングを取り入れました。体育館の周りを走りながら、バスケットゴール下では、長さの異なるスズランテープにジャンプして触ったり、舞台から跳び降りて、浮遊感を味わったりできるようにしました。

チーム練習では、跳ぶ前に「歩数が合っているか見て。」など、自分の見てほしいポイントを友達に伝えます。跳んだ後には、できていたか、どうすればできるかを友達からアドバイスしてもらいます。この練習を何度も繰り返し、技能を高めていきました。毎回の記録会では、最高記録を更新する子が多く、たくさんの笑顔が見られました。

2組の学習を例に紹介しましたが、どのクラスの体育学習も、クラスの様子に合わせて工夫して行っております。体を動かす楽しさを十分に味わい、中休みや放課後、積極的に外で遊ぶ児童が増えてほしいと思います。



### 10月の重点教育目標『体をきたえ元気な子』

## 【体づくり運動・ハードル走に挑戦！】

10月は、教育目標の『体』を重点目標として学習活動に取り組みました。運動会が終わってあおぞら学級での体育の授業が再開し、校庭での体育では、1～3年生は校庭の遊具を使った体づくりの運動、4～6年生はハードル走を行いました。

1～3年生は1学期から遊具を使った体づくりの運動に取り組んでおり、教員が支援をしながら、子どもたちが自分の体を自分の力で支える力を高められるように練習をしてきました。雲梯（うんてい）が1学期の頃より先に進めるようになったり、ジャングルジムの1番上まで登ることができるようになったり、子どもたちの成長を感じています。

4～6年生は、段ボールの箱とハードルを両足で跳ぶ練習や、テンポよく障害物を飛び越える練習を繰り返し行うことにより、障害物があっても恐怖心を抱くことなくスムーズに跳ぶ力が身に付き、スピードを落とさずにハードルを飛び越えることができるようになりました。

これからも子どもたちの実態に合わせた体力向上に向けての取り組みを続けていきます。

